

陸前高田市総合計画審議会 第1回分科会（教育民生） 議事録

日時：平成30年7月25日(水) 14:00～16:00

場所：陸前高田市消防防災センター 2階 研修室

【企画政策課 課長補佐】

資料1から資料4までについて説明

●基本政策4について

【委員】

地域の伝統や文化に関する副読本を小中学生に配布しているか。

【学校教育課長】

防災教育に関する副読本を配布しており、その中で伝統・文化に関するところとすれば、防災の石碑などをとり上げている。

【委員】

祭りなどの地域の伝統文化に関する学習機会を設けるべきである。

【学校教育課長】

小学3年生と4年生を対象とした副読本に掲載している。

【委員】

地域の方を講師として招いて、小中学生が伝統・文化に関する話を聞く機会を設けることもよいのではないか。

【学校教育課長】

実際に太鼓などの指導者を講師として招き、お話を伺っている。

【委員】

基本政策4は、3つの基本理念のいずれに関連する政策なのか。また、基本政策4には伝統・文化について対外的な情報発信を行うという観点も含まれるのか。

【教育次長兼生涯学習課長】

観光関連の基本政策29には、太鼓フェスティバルや七夕まつりなど、地域の伝統・文化に関するイベントを外向けにPRすることが含まれる。基本目標2と7を連携させながら、対外的な情報発信を行っていきたい。

【委員】

郷土芸能等の後継者不足の問題があり、特に中学生は部活等があるため参加が難しい。この問

題について、学校ではどのように考えているか。

【教育次長兼生涯学習課長】

中学生には、授業を通じて地域の伝統文化の大切さについて伝えている。また、後継者を確保するためには保護者の理解も必要であることから、保護者に対する啓発も行っていきたい。

【委員】

後継者不足は大きな問題であり、1つの団体又は地域だけで解決することは困難であることから、市全体として考えていかなければならない。

また、埋蔵文化財については、貴重な財産が地中に眠り続けている状態にあることから、総合計画に盛り込み、発掘を早期に進めていく必要がある。

●基本政策5について

【委員】

生涯学習推進本部が休止状態のため、活動再開に向けて進めていただきたい。また、生涯学習は広範な分野を網羅するものであるが、市民の役割が具体的に見えないことから、生涯学習推進基本計画の策定について検討するとともに、このことについて総合計画に記載するべきと考える。

【教育次長兼生涯学習課長】

教育振興基本計画と生涯学習推進基本計画との関係性を確認し、国や県の動向を踏まえて検討することとしたい。

【委員】

指標に出前講座や市民講座等とあるが、参加者の年齢層はどうなっているか。

【教育次長兼生涯学習課長】

青年層や高齢者層が多くなっている。

【委員】

幅広い年齢層を対象としていることについて指標に盛り込むことや、若年層の参加を促していくことについて総合計画に記載していただきたい。

【委員】

「基本政策の達成に向けて」②の地区公民館との連携について、今は災害公営住宅など新しいコミュニティがあるため、地区公民館だけではカバーしきれない方々もいると思われることから、その辺りを考慮して取り組んでいただきたい。

【委員】

高齢者への学習機会の提供の仕方を考えていただきたい。

【教育次長兼生涯学習課長】

公民館より狭い範囲を対象とした、最寄りの小さな拠点における講座等の開催を企画していただければ支援していきたい。

【委員】

要支援・要介護となった高齢者が、なくなり顔見知りがいる地域にあるデイサービスに通うこととなったという話を聞くが、むしろ知り合いが多くいることがリフレッシュや安心につながるということについて、総合計画から読み取れるようにしていただきたい。

【民生部長兼地域福祉課長】

ただいまのお話しは、基本政策 17 での議論になると思われる。高齢者の身近なところで居場所づくりを行いながら、具体の施策としては公民館での文化活動を推進することなどが考えられる。

【委員】

先ほどお話しがあった狭い範囲での活動は、既に各地で行われており、これらの活動が総合計画のなかで見えるかたちになればよい。

【委員】

どの基本政策に該当するかというところはあるが、人生 100 年時代において、高齢者がそれぞれの役割を担って元気に暮らしていくための取組について、総合計画に盛り込んでいただきたい。

【教育次長兼生涯学習課長】

全庁的に取り組む必要のある新しいメニューの追加は可能であることから、御相談いただきたい。

●基本政策 10 について

【委員】

まちを歩いていると、ごみが目立つが、陸前高田市をPRしていくためには、きれいなまちにしていける必要がある。ごみゼロ作戦など、チャレンジデーのような全市民挙げての取組を行うこととし、総合戦略に文言を入れてみてはどうか。

【民生部長兼地域福祉課長】

そのような具体的な取組については、住環境が整った段階で実施することについて検討したい。

●基本政策 11 について

【委員】

ハッピーマンデーの関係で、ごみ収集日が月曜日となっている地域は、他の地域と比べて収集日が少なくなっていると聞いているが、このことについて市としてどのように考えているか。

【企画部長兼企画政策課長】

過去にはハッピーマンデーに当たる日を別な日に割り当てて収集していたと記憶しているが、確認と検討が必要である。

【委員】

木質バイオマスストーブについて、本市は森林資源が豊かな地域であり、森林の保全や産業の活性化、燃料コストの低減にもつなげられることから、市の施設で率先して導入していただきたい。

【企画部長兼企画政策課長】

新庁舎の建設など公共施設の整備や既存施設の改修の際に検討したい。

【委員】

太陽光発電システムや木質バイオマスストーブの導入促進に当たり、市内の事業者との連携をとっていくのか。

【民生部長兼地域福祉課長】

地元に向きあう事業者がいれば、連携した取組を制度化することについて検討したい。

●基本政策 12 について

【委員】

「基本政策の達成に向けて」①の「児童が安心して遊べる場所の確保・整備」について、遊具のある公園を1町1箇所整備することについて検討していただきたい。

また、「基本政策の達成に向けて」⑦の「障がいの有無や性的マイノリティに関わらず人間関係を築ける若者の育成」について、若者はこのようなことに寛容であり、むしろ大人の方が色眼鏡で見てしまう傾向にあると思われるため、大人の意識の改善に向けた取組が必要である。

【建設部長兼都市計画課長】

公園の整備については、地域からの要望を踏まえて検討していきたい。

【子ども子育て課長】

安心して遊べる場所の周知が十分でないことから、まずは公園の場所をマップ化したいと考えている。また、マップ化してもなお整備が必要な箇所があれば、対応について検討していきたい。

【民生部次長兼保健課長】

マイノリティの受入れについては、中高生を対象としたアンケートの結果によると、確かに寛容な意見が多いように思われる。大人を対象とした取組についても、機会があれば実施することを検討したい。

【委員】

児童が安心して遊べる場所の確保・整備について、ある都会出身で市内に嫁いできた方が、陸前高田市は自然が豊かにもかかわらず、自然と触れ合う機会が少ないことが残念だと言っていた。基本政策 10 について、安全面を整備していただいたうえで、住民が自然と親しむことができるように取り組んでほしいと感じた。

また、仕事をしながら育児をする母親の負担を軽減することは、政策 20 の「仕事と生活の調和を図る」にも関係してくると思われる。ワークライフバランスを改善するためには、企業や地域などの理解が必要である。

【委員】

放課後児童クラブについて、運営に親が参加するケースが多く、仕事に支障が出ているという話を聞いたことがあるが、実態はどうか。

【子ども子育て課長】

放課後児童クラブは、市内全域で保護者が運営しており、特に会計などの役職についている方の負担が大きいと、負担に偏りが生じないように分担して運営していただきたいと考えている。

(以上)